

はらんべえ・れお

KESTES 通信第3号

Habari zenu?? ケニアの子供の未来を応援する奨学金制度 KESTES の機関誌「はらんべえ・れお」第3号をお送りします。

今月号では、初めに奨学生サンバ君との初めての面会を紹介します。



8月中旬 KESTES 委員の 16 名がケニア西部カカメガで奨学生サンバ君と面会を行いました。昼食を共にする中、楽しそうにサッカー・将来の夢であるパイロットの話をする姿、また学業にも意欲

的な様子を見て、彼が学校から得ているものの大きさを強く感じる事ができました。今後、彼のさらなる活躍が期待できる面会となりました。

奨学生の近況報告

Brian Ochieng Otieno 君 前期の成績は Grade が C-、学年順位は 132 名中 15 位の成績を取っています。また彼はスポーツ面でも活躍しており、モンバサで行なわれた「円盤投げ」全国大会で 4 位と好成績を残しています。

Mutemi Ann Bekinda さん 前期の成績は Grade が B、学年順位は 168

人中 52 位と前回の成績よりも 40 位成績を上げる頑張りをみせています。Sanba Wanda Kennedy 君 前期の成績は Grade が B、学年順位が 181 人中 2 位という好成績をあげています。また彼は Matungu District の Science 大会で優勝するという快挙を成し遂げました。

新メンバーも続々と増え、今号現在で総勢 30 名となりました。KESTES の今後の活動がより力強くなる事が期待されます。以下、新メンバーを紹介します。

袴田つねみ (H21-1 水質調査)、以下 H22-1、丸山由生(エイズ対策)、細川洋子(小学校教諭)、森英恵(エイズ対策)、阪上宏樹(青少年活動)、阿部和弘(ソーシャルワーカー)、長谷川幸子(環境教育)、野島悠平(青少年活動)、豊田玲香(青少年活動)、藤田綾子(村落開発)、岸田勇人(体育)、加藤マリ(エイズ対策)、加藤由美(エイズ対策)、清水美香(エイズ対策)、以上 14 名
敬称略

ナイロビ郊外にある日本人学校にてイベント「ふれあい祭」が行なわれ、KESTES は広報・募金活動を行いました。多くの方々が KESTES の活動に関心を寄せて下さり、皆様から暖かい励ましのお言葉、ご支援を頂きました。本活動では、23,922 シリング(収益 20,714Ksh)もの募金が集まり、学生 1 人が 1 年間学校に通うのに十分な募金を寄せて頂きました。さらに、20 年前の KESTES 奨学生であるキホロ博士(現ジョモケニア ッタ農工大学講師)も応援に駆けつけて下さり、さらに 4 万シリングもの寄付を頂きました。ご協力頂いた皆様、本当に有り難うございました。

KESTES への質問、「はらんべえ・れお」の感想をお待ちしております。

kesteschairperson@gmail.com